

会員維持増強に繋げよう！プロジェクト

～リレーエッセイが結ぶ会員の絆～

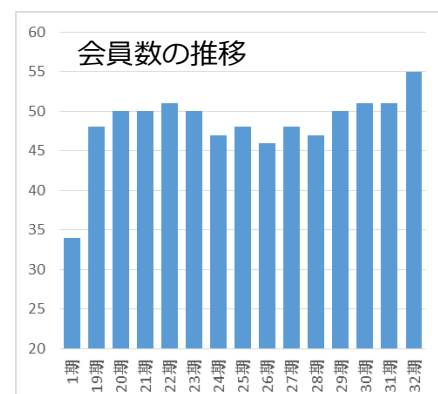
① 初めに

国際ソロプチミスト熊本-すみれは（以後、すみれクラブと略す）30歳代3名、40歳代6名、50歳代7名、60歳代21名、70歳代14名、80歳代4名という幅広い年齢層で55名の会員で構成されています。

今期も4名の新入会員を迎え、現在南リジョンで最大数の会員を抱えるすみれクラブですが、会員数の維持増強は他クラブ同様大きな課題です。

ソロプチミストの使命を果たす上での、集団的影響力を高めるためにも、会員数を維持増強させ、メンバーシップの基盤の構築は大変重要な役割です。

1期 (1987年)	20期 (2006年)	25期 (2011年)	30期 (2016年)	32期 (2018年)
34名	50名	48名	51名	55名



② リレーエッセイの始まりと目的

私たちのすみれクラブでは、会員間のメンバーシップに価値を置き、メンバー同士の結束を高める事を目的に、2005年3月のホームページ開設当初より会員で作る「リレーエッセイ」を毎月欠かさず掲載しています。

会員全員に発言する場を作りたい。ホームページの立ち上げにあたり、行事の報告のみでなく会員が参加するページを作りたい。という思いから「リレーエッセイ」は立ち上がりました。

③ 現在のリレーエッセイとその影響

エッセイには、会員の気になるテレビ番組・映画・本の紹介や、世の中の動き、旅行でのエピソード、何気ない日常のふとした一瞬の感情や気持ち、過去の思い出、家族のことなど様々な話題でいっぱいです。

幅広い内容のエッセイでは、親しみのある文章や写真など、会員の方々の気品と教養、豊かな経験と暖かい心が溢れていて、日頃の例会だけでは感じ取れない会員の個性の発見や理解に繋がっています。

すみれクラブでは、新入会員の入会があると、優先でエッセイ執筆を依頼し、新入会

ホームページより抜粋

員にとっては、心を開き自己の表現を通してクラブに打ち解けるきっかけになります。今期の新入会員の坂田会員から「自身を垣間見ていただける機会だと思いました」宮原会員からも「自らを振り返る良い機会になりました。先輩会員のエッセイを拝見して本当に素敵の方々と一緒にできていると感じ嬉しくなりました」等の声をいただいています。また、エッセイを読む会員にとっては、年齢や背景の異なる会員の立場や考え方、背景が理解に繋がり、会員間のコミュニケーションの機会を増やすと共に、絆の深まりを感じます。エッセイの掲載後は、エッセイの内容に関して掲載者に会員が話しかけている姿をよく見かけます。

年齢層の広いすみれクラブでは、パソコンが苦手な会員にもリレーエッセイを見ていただけるように更新に合わせて、最新作を印刷し例会で回覧するなど工夫し、会員皆さんに楽しんでいただけるようにしています。

実際にすみれクラブのホームページやリレーエッセイを見て福岡在住の方が「こんな素敵なクラブならぜひ入ってみたい！」と自らすみれクラブを選び入会してくださいました。南リジョンでもお話があったように新会員の入会のきっかけは色々です。友人や知人からの紹介、クラブのチャリティーイベント、ボランティア活動、その中でもクラブホームページの活用は徐々に成果が出て来ているように思います。ホームページの中で継続してきたリレーエッセイが、会員のみならず、他に与える影響は大変嬉しく、会員のクラブに対するエンゲージメントの力でもあり誇りであると感じています。

④ 最後に

これからもメンバーシップの価値を向上させ、すみれクラブが輝きを増していけるように、「リレーエッセイ」を通して会員間の相互理解、絆の強化、クラブ・会員の素晴らしさのアピールに貢献する人気コンテンツとして継続していきたいと思えます。そしてそれが、会員の維持増強に繋がると考えています。



ホームページより抜粋